

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
1		龍寶寺書籍目録	表紙書付「實政実養所納」か。1丁目に「惠澤山経蔵目録龍宝寺什物實政寄附」とあり。				1	縦帳
2		聞通禅土白松島回語其勝既等漫作此詩	松島・仙台城下・塩竈等に関する詩。虫損あり			享保19年〔1734〕3月上旬	1	縦継紙
3		(詠歌)	学山迂翁元成は集堂学山	学山迂翁元成頓首再拜		明和丙戌のとし〔1766〕秋8月日	1	縦帳
4		草山詩集抜書	奥書に「奥陽磐井郡山ノ目町於 龍澤禅寺書写之」とあり。1丁に蔵書印	素忠観義(写)(原文:洛陽深草山居日蓮沙門 元政妙子自題作)		正徳元年〔1711〕辛卯8月13日写	1	縦帳
5		明朝刑制抄畧	無刑録の参考書としてメモしたものか。表紙に人名など書付。本文には「刑本」「刑官」「刑法」「刑具」など無刑録の体制に準じる構成	(芦東山)			1	縦帳
6		玩易詩文集	新表紙の書付「有所不為齋」。文中「乙亥孟春用韻寄多田宗魯古詩二首」、「宝暦六年丙子十一月十五日己卯校正朱子行状贈堦畑中太冲」など	孤臣蘆徳林書干嘉美郡貴明山下玩易壘中		(宝暦6年〔1756〕丙子11月15日己卯)	1	縦帳
7		蘆幸七郎蘆妮願書〔写〕	芦東山娘妮(さく)の父の幽囚赦免願書。	(原文:蘆幸七郎女子 蘆妮(花押))	(原文:長門殿)	(原文:宝暦6年〔1756〕9月15日)	1	縦帳
8		行乃記	藩主のお供をして江戸へ行く道中のことを書いたもの。	畠中太冲藤原盛雄記		安永6年〔1777〕4月10日	1	縦帳
9		後生論	外題「芦東山先生著後生論」、表紙書込み「大本堂蔵書」。晩年の芦東山の人生観を書いたもの。	門人摺沢村与源太謹書		明和丁亥4年〔1767〕4月既望	1	縦帳
10		聖学要問〔写〕	①聖学要問 東山先生講義 ②与畑中多忠書 ③東山蘆先生書翰 ④室鳩巢先生より蘆東山先生江書翰抜翠 ⑤(書跡「壽」説明)	①将舒(花押)(原文:飯養白謹識) ②(原文:貴明山叟) ③(原文:蘆東民) ④(原文:室新助 直清(花押)) ⑤台輔	②(原文:大忠様) ③(原文:御三賢様) ④(原文:蘆孝七郎様) ⑤元輔殿	①明治33年〔1900〕4月写(原文:享保丙午(享保11年〔1726〕)初秋11月) ②(原文:12月16日) ③(原文:11月11日朝) ④(原文:6月25日) ⑤3月21日	1	縦帳
11		武教綱領要歸鈔 乾	桃井素忠の持っていたもの。表紙に「主大原三門」、末尾に「主佐藤信隣」とあり。表紙、本文に蔵書印	素行先生門人 太虚堂 虚受軒如石子撰 勝輝(重判)、臨濟沙門遁世子 靈賜谷音書写之(重判)(原文:馬場美濃守源信房孫馬場道与齋信貞書之)		元禄11〔1696〕戊寅歳4月12丙辰日(原文:寛文2〔1662〕壬寅歳7月28日在判)	1	縦帳

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
12		恭懿先生行状	芦東山が教わった田辺希賢の履歴。	門人宮崎遷客蘆(後欠、徳林カ)		元文4年〔1739〕3月10(後欠)	1	縦帳
13		綱領要記	内題「魯叟要録」、識語「紺野幸之丞主 此時十四才ニテ師ヨリ是ヲ授与給シ也」(師とは桃井素忠か)。裏表紙に書き込み。表紙、本文などに蔵書印1つ、1丁目に3つ。	始直(印)			1	縦帳
14		對雲觀水奉呈一関公臺下歌	①對雲觀水奉呈一関公台下歌 ②献室子感諸生文歌 ③献室根小松歌。芦東山が書いて一関藩主田村村隆に差上げたものか。	東山洪民徳林拜		癸未(宝暦13年〔1763〕)之秋	1	縦帳
15		(東山先生詩文集)	見返しに「元文三年六月十一日途中作」の漢詩	(思門谷口)		(宝暦己卯(宝暦9年〔1759〕)臘月11日)	1	縦帳
16		東山先生学校始末〔写〕	①東山先生学校始末 ②講堂斑列図他。幽閉される原因ともなった学問所関連の諸資料写し。	将舒(花押)(写)		明治31年〔1898〕9月(原文:延享2年〔1745〕など)	1	縦帳
17		武田教訓書古鑑集〔写〕	①読教訓書法 ②武田信繁教訓書古鑑集序 ③武田信繁教訓書古鑑集。文中「永禄元年戊午卯月吉日」とあり。岩淵孝之丞13歳の時に桃井素忠より与えられたもので、内容は「武田信繁家訓」。	掬水庵人素忠子 観義曼題書之(印)(原文:武田左馬助 信繁在判)	(原文:長老江)	宝永2年〔1705〕龍集乙酉夷則上潮甲子三定鳥(原文:永禄元年〔1558〕戊午卯月吉日)	1	縦帳
18		(贈星翁並序)	①贈星翁並序 ②釣翁書志 ③(書付)。星翁は星談水(七郎左右衛門愛信)	①②(芦東山) ③東山洪民蘆舩(芦東山)		①(安永2年〔1773〕) ②(安永4年〔1775〕)	1	縦帳
19		示乞人吟	「人日示乞人二首 窮民乞食亦天民(略)」(原文異体字あり)。見返しに「十賢堂図書印」の蔵書印。	寒貧(原文異体字) 惠林書(芦東山)		(安永4年〔1775〕)	1	縦帳
20		官拙帰田園	漢詩添削か。「徳林先生作詩之愚点左」とあり。奥書は「右次韻呈山原允」。No21と同封				1	縦紙
21		(願書)	芦幸七郎(芦東山)家族の洪民村住居許可の願ひ。No20と同封	畑中多仲(重判)	大原文左衛門殿	宝暦12年〔1762〕4月17日	1	縦紙
23		(書跡)	漢詩。「大孝以忠為本(略)」	東山洪民(印)(印)		宝暦壬午(宝暦12年〔1762〕)重陽戊辰	1	掛軸
24	1	(書跡)	漢詩。「冬季当春立(略)」	蘆惠林謹賦(芦東山)		(1770年代)	1	掛軸
24	2	(書跡複製)	No「24-1」の複製。紙箱入り	(原文:蘆惠林謹賦)		(原文:1770年代)	1	掛軸
25		(書跡)	『小学』の題。「立教明倫 敬身稽古 嘉言善行 萬世規矩」	(芦東山)			1	掛軸
26		辛卯靈辰正実歌	①(漢詩) ②(説明文)。千厩の農民に与えた書。	①磐井郡東山洪民(印) ②洪民徳(欠、林カ)		①辛卯(明和8年〔1771〕)	1	掛軸
27		(書跡)	漢詩。「南極老漢 長首短身(略)」	幽叟(印)(芦東山)		(晩年の頃)	1	掛軸

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
28		仲春東遷(書跡複製)	①(漢詩) ②(説明文)。「嚴譴投荒二十年」(略)。屈原の生涯と東山自身の人生をなぞらえた七言絶句。	(原文:①貴明山下幽叟 蘆惠林(花押) ②復翁書)		(原文:②丁丑(宝暦7年〔1757〕)仲春念九 味爽)	1	掛軸
29		(書跡)	漢詩。「九月十三夜次韻(略)」	東嶠稿(芦東山)	金澤生	9月13日夜〔幽閉中〔1738~1761〕〕	1	掛軸
30		(書跡)	漢詩。「中行黙(略)」	洪民(印)(芦東山)		安永乙未(安永4年〔1775〕)上元癸亥	1	掛軸
31		(書跡)	漢詩。「事親尽観 其難在色(略)」				1	掛軸
32	1	(伊達綱村躑躅岡碑文写)	仙台藩4代藩主伊達綱村が建立した躑躅岡釈迦堂碑の碑文を写したものの。	(原文:奥州大守藤原朝臣綱村)		(原文:元禄8〔1695〕龍集乙亥年3月8日)	1	掛軸
32	2	(伊達綱村躑躅岡碑文写複製)	No「32-1」の複製	(原文:奥州大守藤原朝臣綱村)		(原文:元禄8〔1695〕龍集乙亥年3月8日)	1	掛軸
33		(書跡複製)	漢詩。「明和庚寅、孟夏吉辰(略)」	(原文:芦惠林茂仲甫)		(原文:明和庚寅〔1770〕孟夏吉辰)	1	掛軸
34		松(和歌)	軸の上巻のラベルに「綱村公十一歳の御筆」と有り。	(伊達綱村)			1	掛軸
35		(書跡)	「田開之見(略)」。廣澤は細井広沢。	廣澤慎書(印)(印)		癸丑(享保18年〔1733〕)春	1	掛軸
36		(書跡)	「十賢堂」	廣澤慎書(印)(印)			1	掛軸
37		(書跡)	「梅隱」	廣澤慎書(印)(印)			1	掛軸
38		(書跡)	「大原小林裏黒鳥(略)」。芦東山の「孝鳥吟」。白居易の漢詩について言及など。写しか	(原文:芦東山)			1	掛軸
39		(書跡)	「帟嘯谷而生風(略)」	東山洪民蘆絳(芦東山)		明和辛卯〔1771〕	1	掛軸
40		(絵画)	西洋人と犬の絵	村興(印)(印)			1	掛軸
41		(書状表装)	書状4点の貼り交ぜ。①鳩巢先生の文集についてなど ②千助事も骨折りのことなどについて。後欠カ ③老母とも引越のことなどについて ④此節下さる工夫爾来打ち続き取り込みの事についてなど。	①集堂迂亭(花押) ②半左衛門(花押) ③和久半左衛門(花押) ④服部甚蔵	①芦孝七郎様 ②渡小吉殿 ④蘆東民様	①12月3日 ②6月28日 ④5月6日	1	掛軸
42		(漢詩)	「明和元年六月公入奥府(略)」。仙台藩主伊達重村等の大原訪問についてうたったもの	東山蘆徳林■		明和元年〔1764〕甲申8月	1	掛軸
43		(書跡)	漢詩。「東風習々満溪濱(略)」	梅隠畸人(芦東山)		己未(元文4年〔1739〕)元旦	1	掛軸
44		(漢詩)	「蚤豈被拳(原文異体字)薦(略)」	東犬書(芦東山)		安永4季〔1775〕	1	掛軸
45		(書跡)	八代集の第七「千載和歌集」の源俊頼の和歌「あすもこむ 野路の玉川菘こえて 色なる波に 月やとりけり」。「青蓮院宮尊証親王御書」と箱書あり	(印)			1	掛軸

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
46		明和辛卯午節旋頭詩	「与天地此寿(略)」	室根山下赤(原文異体字) 蟲謹書(芦東山)		明和辛卯(明和8年 [1771])	1	掛軸
47		刑本 下 二(無刑録 一)	原本無刑録。No47~61は木箱入り。	(芦東山)			1	縦帳
48		刑官 上下 三四(無刑 録 二)	原本無刑録。3枚目の表紙に「刑官 三」と あり	(芦東山)			1	縦帳
49		刑法 上下 五六(無刑 録 三)	原本無刑録。中の表紙に「刑法 四」とあり	(芦東山)			1	縦帳
50		刑具 七(無刑録 四)	原本無刑録。中の表紙に「刑具 五」とあり	(芦東山)			1	縦帳
51		流贖 八(無刑録 五)	原本無刑録。中の表紙に「流贖 六」とあり	(芦東山)			1	縦帳
52		肆赦 九(無刑録 六)	原本無刑録。中の表紙に「肆赦 七」とあり	(芦東山)			1	縦帳
53		聴斷 十(無刑録 七)	原本無刑録。中の表紙に「聴斷 八」とあり	(芦東山)			1	縦帳
54		詳讞 十一(無刑録 八)	原本無刑録。中の表紙に「無刑録巻九」と あり	(芦東山)			1	縦帳
55		議辟 十二(無刑録 九)	原本無刑録	(芦東山)			1	縦帳
56		無刑録 卷十三 和難 上(無刑録 十)	原本無刑録	(芦東山)			1	縦帳
57		無刑録 卷十四 和難 下(無刑録 十一)	原本無刑録	(芦東山)			1	縦帳
58		無刑録 卷十五 伸理 (無刑録 十二)	原本無刑録	(芦東山)			1	縦帳
59		感召 十六(無刑録 十 三)	原本無刑録。巻末に「無刑録巻十六終」と あり	(芦東山)			1	縦帳
60		欽恤 十七(無刑録 十 四)	原本無刑録。巻末に「無刑録巻十七終」と あり	(芦東山)			1	縦帳
61		濫縦 卷十八(無刑録 十五)	原本無刑録	(芦東山)		寛延4年[1751]閏6 月5日(末尾書付)	1	縦帳
62		(書状)	⑦百十六番 未之八 ⑧寛延四年七月廿 九日出富村白鳥良作米谷飯塚(欠)所江之 書状写 ⑭宝暦八年十一月十(欠)日白鳥 良作飯塚順安所江遣候書状[写] ⑮宝暦 四年五日十一日四通之書状[写]。芦東山 の書状など15点卷子仕立。	①麿泉濯(印)(印) ②貴 明山叟(芦徳林)(端)、蘆 徳林(奥) ③幽叟 ④⑤貴 明山人 ⑥蘆幸七郎 ⑦臥 虫齋 ⑧蘆幸(欠、七郎力) ⑩蘆徳林 ⑭娼(原文:1幽 叟、2東嶠) ⑮芦のさく写 (原文:1貴明山人、2蘆孝 七郎、3貴明山叟 徳林(花 押)、4蘆幸七郎)	②順安様(端)、松隠尊 兄 座下(奥) ③太忠様 ④儀作様 ⑤真安様 ⑥ 飯塚儀作様 ⑦長安様 ⑩齋翁仁兄坐前 ⑭(原 文:1良作様、2順安様・ 真安様) ⑮(原文:1良 作様、2八谷仲内様、3順 安様・真安様・卯右衛門 様、4恣穩様)	②10月15日(端、奥) ③9月6日 ④12月15 日 ⑤宝暦5年 [1755]11月15日 (端)、11月15日 ⑥3 月8日 ⑦3月8日 ⑩ 10月7日 ⑫8月3日 ⑭(原文:1、2 (宝暦 8年[1758])11月13 日) ⑮(原文:1~4 宝暦4年[1754]5月 11日)	1	卷子

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
63		(書状)	①乙酉二番 ②寫。畑中太忠宛芦東民書状2通、及び斎藤林太夫宛芦東民書状1通を継いで卷子仕立 ①②付箋あり ①～③に継ぎ目印あり	①②蘆東民 ③蘆ノ東民	①②畑中太忠様 ③斎藤林太夫様	①(明和2年〔1765〕(乙酉))2月3日 ②乙酉(明和2年〔1765〕)2月2日 ③2月3日	1	卷子
64		(書状)	⑦別啓。芦(岩淵)孝七郎(芦東山)宛の室新助(鳩巢)書状7通を継いで卷子仕立	①～⑥室新助 直清(花押)	①②岩淵孝七郎様 ③⑤芦孝七郎様 ④⑥蘆孝七郎様	①正月27日 ②(享保12年〔1727〕)閏正月13日 ③3月20日 ④2月9日 ⑤4月21日 ⑥8月14日	1	卷子
65		(書状)	芦(岩淵)孝七郎(芦東山)宛の室鳩巢書状8通を継いで卷子仕立。徂徠学流行につき忠告など。	①室新助 ②室新助(花押) ③室新助 直清(花押) ④室新助 ⑤～⑧室新助 直清(花押)	①蘆孝七郎様 ②～⑤岩淵孝七郎様 ⑥芦孝七郎様 ⑦蘆孝七郎様 ⑧蘆孝七様	①(享保14〔1729〕)閏9月20日 ②5月23日 ③正月7日 ④(享保12年〔1727〕)閏正月15日 ⑤正月9日 ⑥2月7日 ⑦6月25日 ⑧2月3日	1	卷子
66		(芦東山江戸出府願書)	①(願書) ②覚	①東山洪民村蘆東民敬白 ②磐井郡東山洪民村芦東民(印)		①②明和7年〔1770〕6月11日	2	豎継紙
68		享保十一丙午曆		江戸曆開板所 木下甚右衛門		享保11年〔1726〕	1	豎帳
69		享保十八癸丑曆	裏に「癸丑」と書き込み	江戸曆開板所 小川七左衛門		享保18年〔1733〕	1	豎帳
70	1	(日記断簡)	綴じ跡あり	(芦東山)		2月14日～3月朔日	1	豎紙
71		(日記)	欠日あり	(芦東山)		延享元年〔1744〕	1	豎帳
72		(綴)(①延享二乙丑曆 ②日記)	延享2年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 丸屋九左衛門 ②(芦東山)		①(延享2年〔1745〕) ②(延享2年〔1745〕)1月～閏12月	1	豎帳
73		(綴)(①延享三丙寅曆 ②日記)	延享3年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 井筒屋三右衛門 ②(芦東山)		①(延享3年〔1746〕) ②(延享3年〔1746〕)1月～12月	1	豎帳
74		(綴)(①延享五戊辰曆 ②日記)	延享5年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 井筒屋三右衛門 ②(芦東山)		①(延享5年〔1748〕) ②(延享5年〔1748〕)1月～12月	1	豎帳
75		(綴)(①寛延二己巳曆 ②日記)	寛延2年曆と日記の合冊、綴りはずれの頁あり	①江戸曆開板所 小川屋七左衛門 ②(芦東山)		①(寛延2年〔1749〕) ②(寛延2年〔1749〕)1月～12月	1	豎帳

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
76		(綴)(①寛延三庚午曆 ②日記)	寛延3年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 木下甚 右衛門 ②(芦東山)		①(寛延3年〔1750〕) ②(寛延3年〔1750〕) 1月～12月	1	縦帳
77		(綴)(①寛延四辛未曆 ②日記)	寛延4年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 鶴屋喜 右衛門 ②(芦東山)		①(寛延4年〔1751〕) ②(寛延4年〔1751〕) 1月～12月	1	縦帳
78		(綴)(①寛延五壬申曆 ②日記)	寛延5年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 中嶋屋 四郎左衛門 ②芦東山		①(寛延5年〔1752〕) ②(寛延5年〔1752〕) 1月～12月	1	縦帳
79		(綴)(①宝曆四甲戌曆 ②日記)	宝曆4年曆と日記の合冊	②(芦東山)		①宝曆4年〔1754〕 ②(宝曆4年〔1754〕)	1	縦帳
80		(綴)(①宝曆五乙亥新 曆 ②日記)	宝曆5年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 鶴屋喜 右衛門 ②(芦東山)		①(宝曆5年〔1755〕) ②(宝曆5年〔1755〕) 1月～12月	1	縦帳
81		(日記断片)		(芦東山)		(宝曆12年〔1762〕9 月)23日～11月24日	1	縦帳
82		(綴)(①明和三丙戌曆 ②日記)	明和3年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 小川屋 七左衛門 ②(芦東山)		①(明和3年〔1766〕) ②明和3年〔1766〕1 月～12月	1	縦帳
83		(綴)(①明和七年庚寅 曆 ②日記)	明和7年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 小川屋 七左衛門 ②(芦東山)		①明和7年〔1770〕 ②(明和7年〔1770〕) 1月～12月	1	縦帳
84		(綴)(①明和九年壬辰 曆 ②日記)	明和9年曆と日記の合冊	①江戸曆開板所 小川屋 七左衛門 ②(芦東山)		①明和9年〔1772〕 ②明和9年〔1772〕1 月～12月	1	縦帳
85		(日記)	欠日あり	(芦東山)		(安永5年〔1776〕)	1	縦帳
86		(諸唐書写本)	見返しに書き込み。末尾に「元文五年庚申 謫居宮崎自四月十五日看唐書至五月廿九 日凡讀再遍」とあり	(芦東山写)		元文5年〔1740〕庚申	1	縦帳
87	1～ 3	訳註無刑録	上中下。上巻は正誤表付き、「山口地方裁 判所 豫審判事 西巻芳二郎」の名刺あり	芦野徳林遺著、佐伯復堂 訳註、刑務協会発行		昭和2年〔1927〕	3	縦本
88	1～ 16	無刑録訳註	一～十六巻	原著芦徳林、訳註千葉寛 二郎、刊行大東町教育委 員会		昭和49年〔1974〕～ 昭和62年〔1987〕	16	縦本
89		(書跡)	杜甫の詩「飲中八仙歌」を揮毫したもの。 「知章騎馬似乗船」				1	縦長 和紙
90		(書跡)	杜甫の詩「飲中八仙歌」を揮毫したもの。 「眼花落井水底眠(略)」				1	縦長 和紙
91		(書跡)	杜甫の詩「飲中八仙歌」を揮毫したもの。 「道逢麴車口流涎(略)」				1	縦長 和紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
92		(書跡)	杜甫の詩「飲中八仙歌」を揮毫したもの。 「左相日興費万錢(略)」				1	縦長 和紙
93		(書跡)	杜甫の詩「飲中八仙歌」を揮毫したもの。 「銜杯樂聖稱避賢(略)」				1	縦長 和紙
94		(書跡)	杜甫の詩「飲中八仙歌」を揮毫したもの。 「舉觴白眼望青天(略)」				1	縦長 和紙
95		(起請文前書等)	①起請文前書 ②記證文前書 ③覚 ④戦 略至極之事。兵法に関する起請文前書等 を表装したもの。孝之丞(芦東山の義兄)に 渡されたもの。No95～97は木箱入り	③朽瓢子(印)	③后學 幸之丞殿	③宝永4年〔1707〕丁 亥10月朔日	1	卷子
96		(覚等)	①覚 ②兵法相傳血脉 ③起請之事 ④虎 之巻日取 ⑤石銘之日取	①隠士素忠子 観義書置 ③(小笠原大膳大夫他4人) ④真珪刻 ⑤(小笠原三衆 軒)(花押)		①元禄13辰年 〔1700〕4月12日 ③ 天正6年〔1578〕戊寅 正月吉日 ④天正5 年〔1577〕丁丑正月 吉日 ⑤天正6年 〔1578〕戊寅八月吉 日	1	卷子 函入 り
97		(天全集〔写〕等)	①天全集〔写〕 ②備之巻 ③天之巻秘術 ④帝釈天日取之事。戦における吉凶を記し た暦の他、兵法に関する内容。	①～③真珪刻 ④真珪之		①天正5年丁丑 〔1577〕正月吉日 ② 天正5年丁丑〔1577〕 2月吉日 ③天正5年 丁丑〔1577〕正月吉 日	1	卷子 函入 り
98		六十六部廻國縁起〔写〕	1丁、奥付に印。末尾の折り目に「観義三十 九才にして書写之」云々の書き込み。観義 は桃井素忠。	片山貧士 素忠欽題焉など (写)		宝永2年〔1705〕8月5 日など(写)	1	豎帳
99		兔園吟藁 四	漢詩集(11166～11706番)。表紙に書き込 み	(桃井素忠)		享保2年〔1717〕10月 22～12月小29日	1	豎帳
100		兔園吟藁 八	漢詩集(13701～14030番)。見返しに、享保 5年、幸之丞嫡子宰十郎が破り、破損の旨 記載あり	(桃井素忠)		享保4年〔1719〕	1	豎帳
101		蠹魚樗木集 二	漢詩集(11701～12200番)。1丁冒頭に書き 込み			享保3年〔1718〕1月 ～6月	1	豎帳
102		兔園吟藁 巻十二	漢詩集(24461～25000番)。1丁に章右衛門 の蔵書印	(桃井素忠)		享保5年〔1720〕	1	豎帳
103		兔園吟藁 巻十三	漢詩集(15617～15730番)。1丁に章右衛門 の蔵書印	(桃井素忠)		享保5年〔1720〕	1	豎帳
104		東山先生之像	芦東山の肖像画	(佐藤醇吉)			1	額入

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
108		(書状)	去る人より迷惑致させるよう指図あるも 皆々情けを加えるとこのことなど。幽閉中の ものカ。後欠、軸装。	(芦東山)			1	卷子
109		(書状)	芦東山娘妮の様子、一平仙台へ登らせ様 子を新五郎殿より伺いのことなど。裏に書 き込みあり。後欠、軸装。	(姪)			1	卷子
110		(印籠)	芦東山の印籠。近江八景の図柄				1	楕 円・ 筒型
111	1~ 18	元老院蔵版 無刑録	「渋民尋常高等学校印」有り。18冊	蘆野徳林		明治10年4月〔1877〕	18	豎本
112		(印鑑)	芦東山の印鑑。両面に文字「君子大心・山 高水長」				1	楕 円・ 円柱
113		(印鑑)	芦東山の印鑑。両面に文字「玩易齋・秋空 一鶴」				1	直方 体
114		玩易齋遺稿 卷之二		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
115		玩易齋遺稿 卷之三		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
116		玩易齋遺稿 卷之四		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
117		玩易齋遺稿 卷之五	校閲者は朱書きによる修正	東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
118		玩易齋遺稿 卷之六		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
119		玩易齋遺稿 卷之七		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
120		玩易齋遺稿 卷之八		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳
121		玩易齋遺稿 卷之九		東山蘆徳林著、仙臺岡濯 校閲、東磐蘆祥平編纂、仙 臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919 ～1920〕	1	豎帳

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
122		玩易齋遺稿 卷之十		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
123		玩易齋遺稿 卷之十一		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
124		玩易齋遺稿 卷之十二		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
125		玩易齋遺稿 卷之十三		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
126		玩易齋遺稿 卷之十四		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
127		玩易齋遺稿 卷之十五		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
128		玩易齋遺稿 卷之十六		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
129		玩易齋遺稿 卷之十七		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
130		玩易齋遺稿 卷之十八		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
131		玩易齋遺稿 卷之十九		東山蘆徳林著、仙臺岡濯校閲、東磐蘆祥平編纂、仙臺後學鈴木成三監修		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
132		玩易齋遺稿 卷之二十 上言序		(原文：芦東山)		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
133		玩易齋遺稿 卷之二十一 上言続き		(原文：芦東山)		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
134		玩易齋遺稿 十三 大極 図	室鳩巢『大極図述卷之上』、芦東山による題文あり	(原文：東山蘆恵林)		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
135		玩易齋遺稿 十四 大極 図	室鳩巢『大極図述卷之下』。末尾に「中元日徳林自書」とあり	(原文：日東 英賀室清直著)		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳
136		玩易齋遺稿 十一 便蒙 指南鑑略	鑑湖竹叟『便蒙指南鑑略』。末尾に芦東山による「質誤」あり	(原文：西河同学弟毛性僧開氏選)		大正8年～9年〔1919～1920〕	1	豎帳

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
137		萬世太平治要策十二條	末尾に「嘉永元三月廿九日夜卒業印」とあり。見返しに蔵書印	東山蘆恵林(原文:明桂彦良)		明和2〔1765〕禊旃蒙作噩臨月庚申	1	縦帳
138	1	無刑録 第一卷 刑本上〔写〕	「十賢堂図書印」の蔵書印(以下、No138-16まで同)。内題「無刑録 刑本 上 一」、本文題「無刑録卷一 刑本上」。「無刑録序解」あり。表紙は古文書による裏打ち	(芦持尹写)			1	縦帳
138	2	無刑録 第二卷 刑本下〔写〕	表紙「無刑録 刑本下 二」、本文題「無刑録卷二 刑本下」。「芦文十郎写 無刑録(十八卷十六冊)」とあるカードあり。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	3	無刑録 第三卷 刑官上〔写〕	表紙、内題「無刑録 刑官上 三」、本文題「無刑録卷三 刑官上」。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	4	無刑録 第四卷 刑官下〔写〕	表紙「無刑録 刑官下 四」、本文題「無刑録卷四 刑官下」。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	5	無刑録 第五・六卷 刑法上・下〔写〕	表紙、内題「無刑録 刑法上下 五六」、本文題「無刑録卷五 刑法上」。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	6	無刑録 第七・八卷 刑具・流贖〔写〕	表紙、内題「無刑録 刑具・流贖 七八」、本文題「無刑録卷七 刑具」。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	7	無刑録 第九卷 赦宥〔写〕	表紙、内題「無刑録 赦宥 九」、本文題「無刑録卷九 赦宥」。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	8	無刑録 第十卷 聴断〔写〕	表紙、内題「無刑録 聴断 十」、本文題「無刑録卷十 聴断」。	(芦持尹写)			1	縦帳
138	9	無刑録 第十一卷 詳讞〔写〕	表紙、内題「無刑録 詳讞 十一」、本文題「無刑録卷十一 詳讞」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	10	無刑録 第十二卷 議辟〔写〕	表紙、内題「無刑録 議辟 十二」、本文題「無刑録卷十二 議辟」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	11	無刑録 第十三卷 和難上〔写〕	表紙「無刑録 和難上 十三」、内題「無刑録 和難 十三」、本文題「無刑録卷十三 和難上」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	12	無刑録 第十四卷 和難下〔写〕	表紙「無刑録 和難下 十四」、本文題「無刑録卷十四 和難下」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	13	無刑録 第十五卷 伸理〔写〕	表紙、内題「無刑録 伸理 十五」、本文題「無刑録卷十五 伸理」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	14	無刑録 第十六卷 感召〔写〕	表紙、内題「無刑録 感召 十六」、本文題「無刑録卷十六 感召」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	15	無刑録 第十七卷 欽恤〔写〕	表紙「無刑録 欽恤 十七」、本文題「無刑録卷十七 欽恤」	(芦持尹写)			1	縦帳
138	16	無刑録 第十八卷 濫縦〔写〕	表紙「無刑録 濫縦 十八」、本文題「無刑録卷十八 濫縦」。末頁に識語「嘉永元九月卒業芦持尹」とあり。芦持尹は芦文十郎。	芦持尹(写)		嘉永元〔1848〕9月(写)	1	縦帳

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
139		(書付)	手習に関する心得、「天正十三年正月廿九日調之」とあり。裏打ちあり	曹洞沙門素忠子 観義書之	磐井郡東山洪民村普嘉足 岩淵幸七郎胤寛主	宝永5年〔1708〕戊子3月23日	1	豎継紙
140		(書状)	気仙町吉田家文書。今泉卯源治への東民の返書を及川総七郎に見せるなど	①-1 蘆東民 恵林 ①-2 蘆徳林 東民(花押) ②東山恵林(末尾に「徳林(花押)」)	①-1 今泉卯源治賢契 ①-2 及川総七賢契 ②今泉総七郎賢契・卯源治賢契	①-1 (安永2年〔1773〕7月19日) ①-2 (安永2年〔1773〕7月19日) ②(明和9年〔1772〕)正月13日	1	横切継紙・豎紙巻物仕立て
141		(書状)	気仙町吉田家文書。「老拙事九月十一日洪民村発足登米江廻り」云々。	①東山蘆恵林 ②東民(末尾に「蘆東民」)	①気仙郡卯源治賢契 ②卯源治殿	①壬辰(安永元年〔1772〕)12月19日	1	豎継紙・横切継紙巻物仕立て
142		(書状)	気仙町吉田家文書。来歳出府願予定の件につき	東民	卯源治殿	(安永2年〔1773〕)12月21日	1	豎紙(裏打)
143		(書状)	気仙町吉田家文書。御令嗣との直談の件	芦東民	気仙今泉大肝入 吉田平五郎殿	11月8日	1	豎紙(裏打)
144		(書状)	気仙町吉田家文書。孝経、小学其の節直々渡すべく云々。	①蘆東民 ②東民	①卯源治殿 ②-1 卯源治賢契 ②-2 総七賢契	①10月朔日 ②6月16日	1	豎紙・横切継紙・横切紙巻子仕立て

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
145		(書跡貼り交ぜ)	①(書付) ②③(書跡) ④~⑫寄題廉讓亭 ⑬(書跡) ⑭寄題廉讓亭。蘆持僚が「廉讓亭」と題して求めた諸氏の書跡	①巨山蘆持僚稿(章右衛門)(印)(印) ②耕雲山人禎隸(志村退蔵)(印)(印)(印) ③平磯漁夫(印)(印) ④廉讓亭 葉山(亦)(印)(印) ⑤綠園崇(玉虫勇蔵)(印)(印) ⑥(蕙)園裕(印) ⑦竹山外史(印) ⑧松園善(印) ⑨松嶼散人筆(印)(印) ⑩膽水堀籠順(印)(印) ⑪岡将舒補(印) ⑫靈樺主北山草 ⑬岡國輔書(印)(印) ⑭牧山敬人雄(印)(印)(印)		①天保15年〔1844〕夏6月既望 ②天保甲辰(天保15年〔1844〕)癸未	1	卷子
146		(書跡貼り交ぜ)	①(書跡) ②(漢詩) ③(書跡) ④過 蘆東山舊居 ⑤(漢詩二首) ⑥題東山先生手澤 遺稿後 ⑦過細桑蘆氏舊宅展 東山先生之墓祭以詩 ⑧(漢詩)	①八十叟五山(菊池五山)(印)(印) ②膽水堀籠順(印)(印) ③鵬齋你人書(龜田鵬齋)(印)(印) ④南山古梁敬具(印)(印) ⑤油井元雄敬具(印)(印)(印) ⑥蕙塢潔草(印)(印) ⑦穴門小倉乾拜稿(印) ⑧静堂老人(印)			1	卷子

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
147		(書跡貼り交ぜ)	①～⑤(漢詩) ⑥梅(漢詩) ⑦次韻寄憶岡梅園君 ⑧⑨(漢詩) ⑩(俳句) ⑪秋・影秋月(和歌・漢詩) ⑫誠(和歌) ⑬(書跡) ⑭題画(漢詩) ⑮過山家(漢詩) ⑯～⑰(漢詩) ⑱⑲(書跡) ⑳(漢詩)。諸名家の手蹟を一巻に仕立てたもの。	①為樂主人 ②雪城居士(印)(印) ③雪城居士(印)(印) ④雪城居士(印)(印) ⑤膽水順草 ⑥■(沢有) ⑦松館主 ⑧兩邨生(印)(印) ⑨磐(易恐)(印)(印) ⑩桃衲一具(印) ⑪蕉溪齋謹誌 ⑫(文)寿達人 ⑬源法然(印)(印) ⑭梧溪補(印) ⑮覺泉補(印) ⑯加賀勝村(師軻) ⑰具(印)(印) ⑱鎮菴(印)(印) ⑲(精孟集) ⑳處主人草 ㉑蘭山影田意 ㉒具(印)(印) ㉓陶齋(印)(印) ㉔河北鳳山書(印)(印) ㉕碧海逸民直書(印)(印)		⑦辛丑(天保12[1841]) ⑱乙未春日 ㉒明治2年[1868]初冬	1	卷子
148		(書画貼り交ぜ)	①(書付) ②～④(書跡) ⑤送巖胤方歸郷里序 ⑥(漢詩) ⑦(蜘蛛の巣書) ⑧(鹿図) ⑨(漢詩) ⑩元旦(漢詩) ⑪還俗尼(漢詩) ⑫～⑮(漢詩) ⑯將歸隱東山留別諸君(漢詩) ⑰(書跡)	①安宅老人東民書(印)(印) ②(印)(印) ③(印)(印) ④南山道人書(印)(印) ⑤岩龍溪謹識 ⑥廻向院義質 ⑦岩垣千尺草 ⑧森玉軒主(志村五城) ⑨嶺牛中 ⑩針生讓草 ⑪讓草 ⑫■ ⑬卅山 ⑭(印)(印) ⑮菊隱山人弘強 ⑯(志村弘強) ⑰長之助(菊隱翁題)		①明和8年[1771]4月8日 ⑤正徳甲午(正徳4年[1714])春正月戊午 ⑦文化甲戌(文化11年[1814])孟春	1	卷子
149		(書跡貼り交ぜ)	①②③(漢詩) ④喜雨、初聴社宇(漢詩二首) ⑤⑥(漢詩) ⑦(漢詩拓本二首) ⑧(律公帖拓本) ⑨～⑪(漢詩) ⑫(鳥図) ⑬(和歌) ⑭觀東山大字火 ⑮(漢詩) ⑯～⑰(書状)	①五城 ②志邨 ③五城(印) ④五城 ⑤五城 ⑥五城草 ⑦(容軒源義和(印)、東華五城儀(印)) ⑧春江字 ⑨菊穩翁書(印)(印) ⑩法橋東駿(印) ⑪龍溪巖 ⑫吟(印) ⑬須田廣 ⑭貞(傳) ⑮(花押) ⑯さくより	⑰とゝ様・かゝ様・東作様	②文化14[1817]丁丑季夏末伏之日 ⑦(1回目:丙戌春下浣) ⑧(元禄戊辰(元禄元年[1688])仲春摸勤上旬) ⑯3月28日 ⑰12月6日	1	卷子
150	覚		他人御預から親類御預への赦を伝える内容			(宝暦11年[1761]3月21日)	1	横切紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
151		(書状)	「非常之義を以被蒙 御免之上ハ他国御暇之願などハ中々難申上時宜と存候」旨。前欠。	田辺喜右衛門	芦東民様	8月晦日	1	横切継紙
152		(書状)	「儲闈近侍」に申付けられた旨	室忠三郎 洪謨(花押)	岩淵孝七郎様 貴酬	5月16日	1	横切継紙
153		(書状)	岩崎宗介の物故等を報ず。裏面は漢文による某人の顕彰文が記される。前欠。	味池儀平 修(花押)	岩淵孝七郎様 人々御中	10月20日	1	横切継紙
154		(書状)	白鳥良作所へ銀子入書状と米送るにつき。前欠。	一桂	孝七郎殿	9月16日	1	横切継紙
155		(消息)	「はる十にのほり申たくおもひそらへと」、「のほりかね、きのとくそろ」など	①②(娼母) ③母より	①②(娼) ③をせうとの	③4月3日	1	横切継紙
156		(消息)	「あまほしかき式十、手作のまめ吉袋」を差し上げる旨など	妮より	とゞ様 人々御申上	10月24日	1	横切継紙
157		(消息)	「川内よめこ」の出産などを報ず。前欠、焼き跡。	佐久より	とゞ様・かゞ様 人々御申上	2月22日朝	1	横切継紙
158		(書状)	順安倅卯蔵に娘を嫁がせてもよい旨など。前欠、	畑中太忠	岳君 机下	9月22日	1	横切継紙
159	1	大学章句	No159は養賢堂蔵板『訂正四書』の一部。書き込みあり。見返しに「芦禎輔」とあり。	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	2	中庸章句	書き込みあり	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	3	読論語孟子法	書き込みあり	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	4	論語 卷之三	書き込みあり。末尾に「細桑」とあり	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	5	論語 卷之六	書き込みあり	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	6	論語 卷之八		朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	7	孟子序説	書き込みあり。裏表紙の見返しに「金野氏(印)」とあり。	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	8	孟子 卷之三	書き込みあり。裏表紙の見返しに「金野氏(印)」とあり。	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	9	孟子 卷之七		朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
159	10	孟子 卷之十一	朱書きあり	朱熹集註		(文化4年〔1807〕)	1	豎本
160	1~7	註解楚辞全集	序～巻八、弁証巻上・下。書き込みあり	八尾平兵衛・文臺屋治郎兵衛刊行		享保9〔1724〕甲辰年3月吉日	7	豎本
161		指定書	原本無刑録を岩手県指定有形文化財に指定のこと。	岩手県教育委員会(印)		昭和40年〔1965〕3月19日	1	洋紙
162		小学合璧摘要 乾	内題「合璧摘要小學本注」。識語「細桑蔵書」、「十賢堂秘蔵明治二十六季」。見返しの中に書付1枚。書き込み、付箋あり	山崎点校本			1	豎本
163	1~7	徒然草文段抄		北村季吟(注釈)、洛陽書林刊		享保2年〔1717〕丁酉5月吉日	7	豎本

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
164	1	蘆徳林封事 蘆原東山稿本	「七ヶ条」の上書関連。見返しに、清廉による安政乙卯の書き込み、蔵書印。No164は「蘆徳林封事」とある帙入り	(蘆原東山稿本)			1	縦帳
164	2	蘆徳林封事	「七ヶ条」の上書。蔵書印				1	縦帳
165	1～5	聚類参考梅花心易掌中指南	(巻一)～巻五。	洛下賤者 馬場信武述、永田調兵衛・上坂勘兵衛刊行		元禄10年〔1697〕丁丑正月吉日	5	竪本
166	1～5	壯悔堂文集〔写〕	仁・義・礼・智など5冊。仁の識語に「鯤堂散史乾未定稿」、「奥之東山主芦徳潤之家留萬数月卒、又膳一部以贈徳潤」など。「十賢堂図書印」など印2つ。	(小倉)鯤堂散史乾(写)、(原本:睢陽侯方域朝宗著、同里 賈開宗静子等評點、元孫必昌五世孫詡疆畏改較訂)		安政戊午(安政5年〔1858〕)2月既望(写)	5	竪帳
167		(感謝状)	「一昨年凶歉二付テハ儲蓄之糶貧民共江致救助候趣奇特之至ニ付」、鎌を下賜の旨	膽澤縣廳	洪民村 村長 芦宇一郎	辛未(明治4年〔1871〕)4月	1	和紙
168		当地御本尊様任受書事	虚空蔵御一体借り上げについて	氣仙郡竹駒村 無極寺(印)・同肝入長平治(印)・同彦左衛門(印)	東山洪民村二而 正太郎殿	文政7〔1824〕申年 5月	1	竪紙
169		蘆君世輔以詩答原允山子并蒙示及適值遷居久不相報至是同其韻	漢詩。河口光遠は芦東山の学友。破損あり、深芦文書。	河口光遠			1	竪紙
170		(書状案文)	授業に関する報知、深芦文書	孝孺頓首	浚新尊丈几前	6月朔旦	1	横切紙
171		奉寄 芦先生芸案下	漢詩、「回首天涯秋色晚(略)」	村上朴齋九拝	芦先生芸案下	季秋日	1	掛軸
173		擬尚齒耆英之例会諸老賢	例会趣旨及び参加者の書上。「蘆東民徳林六十九」と見える。後欠、糊はがれあり、深芦文書	田邊希文		(明和元年〔1764〕)	1	横切継紙
174		(書状)	去月6日京都発足木曾路通行、16日江戸到着のこと、室鳩巢の筆記書写の状況報知。前後欠、紙背に篆書あり。深芦文書	(芦東山)		(享保4年〔1719〕カ)	1	横切継紙
175	1	(草稿カ)	人の私欲に関する考え。後欠、破損あり。深芦文書				1	竪紙
175	2	(草稿カ)	人の倫理に関する考え。前後欠、糊はがれあり				1	竪継紙
176		歳末奉訪先生幽居	漢詩、「一年光景醉中流(略)」。破損あり。深芦文書	金沢徳潤九拝			1	竪紙
177		(書状)	ご無沙汰につき皆々様へもよろしく仰上くださいたく。後欠。深芦文書				1	折紙
178		(漢詩)	「城外春寒路上吟(略)」。前欠カ	富信易拝艸			1	竪紙
179		(書状)	寒中時候挨拶。味庵(志村退蔵)は晩年大原に住む。深芦文書	味庵(白)	作左衛門殿・宇一郎殿	12月19日	1	折紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
180		(願書)	芦幸七郎赦免につき旧宅深芦屋敷に住居し拙者介抱仕る様成し下されたく願。後欠、深芦文書	(岩淵卯左衛門)		(宝暦12年〔1762〕)	1	豎紙
181		(書上)	卯左衛門・幸七郎持高蔵入給人前本地新田とも検地牒写しの記。表紙のみ。破損あり。深芦文書	卯左衛門		正徳4〔1714〕甲午 8月3日	1	豎紙
182		(書状)	賢契事諸士の難渋を察する旨感じ入りにつきなど。虫損甚。深芦文書	嶋〔 〕(欠)	岩淵賢契	閏4月15日	1	折紙
184	1	(書状断簡)	御紙受け申し上げること。前半部欠	飯塚順老	東山先生	6月2日	1	横切紙
184	2	(書状)	昨日当地へ罷越すこと。破れあり、裏面に書付あり。順説は7代飯塚保安	飯塚順説	幸七郎様	9月21日	1	折紙
185		(書状)	当郡大肝入へ願いのこと。破れあり		東民先生・老奥様・卯左衛門様	4月14日	1	横切紙
186		(書状)	旧冬大赦につき赦免願いのこと	八谷仲内	蘆幸七郎様	子ノ 正月13日	1	横切紙
187		覚(学問所設立入用之儀二付建言書控)	深芦文書			(享保20年〔1735〕)	1	折紙
188		(書状)	骨肉の恩義をうけること	斉藤道益	幸七郎様 拜上	9月22日	1	横切紙
189		(書状)	伊達左衛門殿御家も同腹のこと。看病御願のことなど。前欠か	小嶋運五郎	芦幸七郎様	12月14日	1	横切紙
190		覚(芦幸七郎娘と畠中多忠縁組二付達書)	幸七郎娘多忠婚姻のことの指示。深芦文書			(宝暦6年〔1756〕)10月8日	1	折紙
191		(達書)	朱子之祠堂建立ならびに朱書講習のこと	十郎	蘆幸七郎殿	10月16日	1	横切紙
192		(書状)	江戸にて佐藤伊勢死去のこと。糊はがれ	遠藤文七郎守信(花押)	岩淵幸七郎様	10月24日	1	横切紙
193	1	(書状断簡)	近況報告。前欠	田辺喜七郎 希文(花押)	芦幸七郎様	11月20日	1	横切紙
193	2	(書状)	新年挨拶など	田辺喜右衛門 希文(花押)	芦幸七郎様	正月12日	1	横切紙
194		乍恐奉願御事	大御所様薨御につき芦幸七郎御赦免下されたく願。「大御所様」とは伊達吉村をさす。深芦文書	東山洪民村願人 卯左衛門・同村肝煎 作兵衛		寛延4年〔1751〕9月	1	豎紙
195		(書状)	御願い両通相渡し江戸へ持参成されたき由仰下され御尤のこと。深芦文書	松岡雲平	東民先生様	5月27日	1	横切紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
196		(蘆幸七郎切米・扶持方加増二付本帳付置達書)	深芦文書。内容的に3つ	①要人(印)・石見(印)・日向(印) ②今田彦右衛門(印)・小嶋蔵人(印)・大町出雲(印) ③橋本平七郎(印)	①大町出雲殿外5名 ②蘆幸七郎殿	①享保17年〔1732〕5月7日 ②同年 同8日 ③享保17年〔1732〕5月9日	1	折紙
197		(書状)	当十月京都を発足霜月上旬に御国許に罷り下る旨	猪苗代兼竹(花押)	芦幸七郎様	5月23日	1	横切紙
198		(漢詩詠草)	「地靈此地産人傑(略)」、七言絶句。深芦文書				1	横切紙
199		(書状)	小梁川文蔵家来其御地の御知行所へ罷り下る旨、来仙の際住居用立下さる様にとの旨、無刑録写方の件につき	斉藤林太夫	芦幸七郎様	(宝暦12年〔1762〕)11月18日	1	横切紙
200		(書状)	兼て私所存につき。前欠、破れあり	斉藤林太夫	芦東民様	(明和元年〔1764〕)閏12月26日	1	横切継紙
201		(書状)	幼児の病気、書状を届ける件。前欠	大立目六左衛門 成(花押)	蘆東民様 貴酬	中冬念五日(11月25日)	1	横切紙
202		(書状)	近況報告。欠損多い	斉藤可久(花押)	(破れ)兄様拜上	3月15日	1	折紙
203		(書状)	「其方出府申候ハハ」云々。欠損あり	良斎(芦東山)	作之進殿	2月22日	1	折紙
204		(伊東好義斎碑銘)	室鳩巢晩年の門人。破れあり、前後欠。深芦文書	英賀室直清(室鳩巢)撰			1	縦紙
205		(書状)	室鳩巢門人。新年挨拶。欠損あり	中根権七 若思(花押)	蘆孝七郎様 人々御中	正月25日	1	折紙
206		(書状)	「於仙台三白老へも御面談被成下、且拙之又作方吟味共ニ参上可仕由被仰下」た件を謝す。やや虫損。深芦文書	及川惣七郎	先生様	10月25日	1	横切紙
207		(書状断簡)	①忠山君7回忌云々。前欠 ②(書状、壬午二十八番)「五月廿五日出十番六月六日昼九時」云々。下書きか、後欠。深芦文書	①畑中太忠 ②(芦東山)	①東巖岳君几下	①(宝暦12年〔1762〕)5月24日 ②壬午(宝暦12年〔1762〕)6月6日)	1	横切紙
208		(書状)	御家中家譜編述等について。前欠。深芦文書	畑中太忠	岳君机下	6月23日	1	横切紙
209		(書状)	近況報告、前欠	畑中太仲	岳君机下	9月18日	1	横切紙
210		(書状)	金子の工面を謝す旨、番医師に命じられた旨など。前欠、破れあり。深芦文書	斎藤昌安	卯左衛門殿・左太夫殿	12月28日	1	横切継紙
211		(書状)	近況報告。前欠、糊はがれあり。深芦文書	田熙原頓首拜	貴明山人(芦東山)坐前	(宝暦6年〔1756〕)10月7日	1	横切継紙
212		覚(芦幸七郎高泉筑後家中女子を質物に差置候儀二付申渡書)			石母田長門 留主居江	11月朔日	1	横切紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
213		(達書)	芦幸七郎「本内」の次平が京都からの途次、美濃国垂井で路用銭などを盗賊に奪われ、「前後進退昏亡」により同地を出奔した旨。破損あり	御町医師国分町 加藤屋久吉借屋 蘆昌安	御町奉行所	延享5年〔1748〕3月晦日	1	縦紙
214		麻疹禁忌〔写〕	深芦文書	(原本:大坂尼崎町 牛尾氏、再施販 日本橋某、施販 仙台 大町横店某)			1	縦紙
215		口上書	先日私宅訪問の件につき。高嶋一学は一閥藩家老。深芦文書	高嶋一学	芦野東民様	中秋念三(8月23日、晩年)	1	横切紙
216		安永元—七年間製作「仙臺地圖」(復刻版)	元は、No510-1の一部。紙封筒に「安永年間仙台御城下繪圖」とあり。			(原本:安永元年~7年〔1772~1778〕)	1	洋紙
217		幸七郎内深蘆屋敷岩右衛門分左太夫引渡田畑覚		一桂・芦名徳之丞	逸平殿・左太夫殿	元文6年〔1741〕正月23日	1	縦帳
218	1	覚(触書・副達受領書)	深芦文書	金剛寺(印)	観音寺様	明治6年〔1873〕酉のとし 4月15日	1	横切紙
218	2	(十種新宝覚書)	深芦文書				1	折紙
218	3	(御用留断簡)	寺院書上についての新義真言宗諸寺院中宛弥勒寺達し、触書等の通数・冊数の目録。深芦文書	(弥勒寺など)	(新義真言宗 諸寺院中など)	(庚午(明治3年〔1870〕)9月)	1	折紙
218	4	(御用留断簡)	寺院住職継目に関する布達など。深芦文書	(弥勒寺行者 能満寺など)	(新義真言宗諸寺院中など)	(庚午(明治3年〔1870〕)8月・9月)	1	折紙
219		(書状)	総州様より御手翰御答えのこと、御願ひい巻東作殿より渡され御尤の御願ひ、願書御上げならず残念のこと。前欠。深芦文書	高泉俊蔵・高泉厚蔵	捧 夫子玉几下	11月28日	1	横切紙
220		(書状控)	今の栄は偏に貴下ご尽力のこと。奥書に洪民村村社応神天皇尊体を肝煎芦卯右衛門奉納、天保年間に東川院梵鐘を芦韋右衛門ら数名が鑄直しの書上あり、天保期以降の写しカ。破損あり。深芦文書	(岩井郡洪民村 元二郎坊)		(享保13年〔1728〕8月13日)	1	横切紙
221		(書状)	孟子開講は急務なるも先ず大根本の儀第一のこと、この段は東園先生出府なされれば高論を承りたく。前後欠、糊はがれあり。深芦文書				1	横切紙
222		(書状)	京都大焼けにて蔵も残らず丸焼け難儀のこと、その後富小路へ借家を建てること、金子100疋受納。清水三川は清水遊学の妻	清水三川	佛師友桂様	5月2日出	1	横切紙
223		(書上)	京都富小路二条下ル所大仏師清水友学・同勇次郎の法名書上。「天明七未年二月九日」とあり				1	横切紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
224		(書上)	本朝仏師開祖定朝等の法名書上。「嘉永四年十一月六日」とあり				1	縦紙
225		(書状)	小村にてさえ生子殺しは1ヶ年に14、5人にて、人不足民の困窮になる趣太忠殿へ品々申達。前後欠、破損あり、糊はがれあり。深芦文書				1	横切 継紙
226		(書状)	依頼していた芦幸七郎手跡の件につき。深芦文書	師山清右衛門	飯塚順安様	4月14日	1	横切 紙
227		(書状)	当地への御出を乞う旨。破損あり。深芦文書	塩森豊前	蘆東民様閣下	9月7日	1	折紙
228		(書状)	植木仲治病死の件など。末尾に「無刑録太極凶之事も」云々。写しか。破れあり。深芦文書	黒沢東(淇)	蘆悌八様	(宝暦12〔1762〕)閏4月17日	1	綴 (野紙)
229		(書状)	今日五十嵐氏入来、当作も宜しからず米価騰貴のこと、金銀は府下も不通用のこと報知。前欠。深芦文書	畑中太忠		6月15日	1	横切 継紙
230		(書状草稿)	拙者身上のこと、拙者妾配所のことなど。前後欠、糊はがれあり、虫損甚。深芦文書	(芦東山)			1	横切 継紙
231		(書状)	芦作左衛門が「御教訓」した際に他行していた事を詫げる旨など。封紙あり。深芦文書	従上州山田郡桐生六丁目 金野為三郎 九拜	仙臺岩井郡洪民 芦作 左衛門様 御坐右	11月8日	1	横切 継紙
232		(願書)	親類御預人芦幸七郎儀、別紙の通り衣帯惣(カ)鬢願につき御吟味成されたく願。破損甚	佐(竹)一平・畑(中)多忠		正月22日	1	横切 紙
233		(書籍書上)	『聯珠詩格』など書籍24点の目録。書名上に黒点。前後欠か。深芦文書				1	折紙
234		(書状)	7月参る節は余程受け合いよろしきところ、登仙以後の紙面大いに相違にて心許なし。深芦文書	玩易齋(芦東山)	作左衛門様	10月29日	1	横切 紙
235		(書状)	借屋明け渡しの件。前後欠。深芦文書	菊地屋作兵衛	一桂様 御報	正月27日	1	横切 紙
236		(書状)	召し仕えていた勘之丞悴の「無行衛」についての「首尾」につき尋ねる。深芦文書	京右衛門	作左衛門様	6月12日	1	横切 継紙
237		観音寺大鐘	観音寺大鐘の寸法。深芦文書			巳ノ8月18日	1	横切 紙
238		小物通	通帳、品物代金書上。深芦文書	北村屋宇右衛門	洪民 正太郎様	(文政13年〔1830〕6月19日～12月21日)	1	横半 帳
239		(系図)	佐々木彦三郎以下の系図。深芦文書				1	縦紙
240		(書状)	端裏書に「参宮之節新七郎殿方より被下候紙面」。深芦文書	新七郎	儀八郎様	正月8日夜	1	横切 継紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
241		(書状)	上納、苗字の御賞云々。破れあり。深芦文書	芦文十(郎)	北左衛門様 几下	5月14日	1	横切 継紙
242		(願書案文)	大原・鳥海・中川三ヶ村野山入合・たね山御林先例の通り根物取方の件、山元の者共ばかり堀方にてこの段大意を以別紙追願認めにつきお世話下されたく連名願云々。後欠、糊はがれあり。深芦文書				1	横切 継紙
243		(書状)	先日は御厚志につき御礼、江戸材木仕る勇蔵へ品々相談のこと報知。後欠、糊はがれあり。深芦文書	勘右衛門	作右衛門様・庄太郎様	6月27日	1	横切 継紙
244		(天文資料)	月食・日食について。前後欠か、綴じ目あり、1丁のみ。				1	縦紙
245		(書状)	高野翁物故のこと。前後欠、糊はがれ、破れあり。深芦文書	高橋丈太夫			1	横切 継紙
246		(書状)	金頂戴のこと。糊はがれ、破れあり。深芦文書	飯塚順老	芦悌八様	6月2日	1	横切 継紙
247		(深芦先祖戒名覚書)	白栄妻ほか慶長～元禄期の先祖三名の戒名覚書。深芦文書				1	横折 紙
248		(石巻斎藤家略系図覚書)	芦東山の弟昌安が婿養子になった家の略系図。断簡。深芦文書				1	横切 紙
249		(書状)	病中につき無沙汰の許しを願う	塩森兵庫	蘆東民様玉案下	霜月28日	1	横切 紙 (裏打)
250		(書状)	拙子事愚昧猶更書き物不自由にて御憐察下されたく	塩森豊前	蘆東民様	7月8日	1	横切 継紙
251		(書状)	和漢三才絵図・箴炳・心学典論など書籍の情報および詠歌等学問につき近況報知	高橋丈大夫(量清)(花押)	芦東民様	12月25日	1	横切 継紙
252		乍恐口上書を以申上候事	芦幸七郎様他人預御免、洪民村肝煎宅へ請取の旨、洪民村肝煎外左衛門より報告に付、新太夫より権右衛門に伝達	仮大肝入 新太夫(印)	権右衛門様	同年同日(宝暦11年〔1761〕4月21日)	1	横切 継紙 (裏打)
253		(遺言書)	②我等相果申以後徳明二田畑山林共二相譲書立。3点貼り継ぎ、順不同	①③一桂 ②(一桂)	①蘆孝七郎殿・岡部一左衛門様・五十嵐新五郎様・馬場儀兵衛様 ③作左衛門殿(印)・幸之丞殿(印)筆者・弥七殿(印)・八郎右衛門殿(印)・作之允殿(印)	①同年 同日(享保15年〔1730〕3月晦日) ③享保15年〔1730〕3月晦日	1	横切 継紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
254		(遺言書)	我等死後二紙面の趣、孝七(郎)相続仕候様各様頼候など。2点貼り継ぎ ①前欠	①②一桂	①作左衛門殿(印)・孝之丞殿(印)筆者・弥七殿(印)・八郎右衛門殿(印)・作之允殿(印) ②蘆孝七郎殿・岡部一左衛門様・五十嵐新五郎様・馬場義兵衛様	①享保15年〔1730〕3月晦日 ②同年同日(享保15年〔1730〕3月晦日)	1	横切 継紙
255		(書状)	金子登させたきところ、作左衛門にて差し繰り申さず遣わし兼ねること	一桂	孝七郎殿	11月11日	1	横切 継紙
256		(書状)	相続に付吟味の願、去月23日の大洪水知らせ	東山洪民村 卯左衛門	幸七郎様	7月4日	1	横切 継紙 (裏打)
257		(書状)	時候挨拶、この間の便の事につき	室忠三郎 洪謨(花押)	蘆孝七郎様 貴報	4月20日	1	横切 継紙
258		(書状)	此度親類御預御城下御目先迄御免のこと、畑中方老父病気につき	田辺喜右衛門 希(花押)	芦幸七郎様	(宝暦12年〔1762〕)10月7日	1	横切 継紙
259		(書状)	暑中見舞	田邊良輔 希(花押)	蘆幸七郎様	6月10日	1	横切 継紙
260		(書状)	願を出すのであれば向後絶交の心底	喜右衛門	太冲様	6月27日	1	横切 紙
261		(書状)	幸七郎儀書籍扱寄之由二付	岡部一左衛門	洪民村肝煎 宇左衛門殿	12月5日	1	横切 継紙
262		(書状)	「御用之外連名等不仕候間加判之儀ハ御免被下度」。前欠	岡部百之進	東民様	12月19日	1	横切 継紙
263		(書状)	青地氏履歴等について。見返しに暦の裏打ちか。冒頭の裏に書き込み	禮幹拜手	岩淵賢兄足下	(享保9年〔1724〕)正月5日夜	1	横切 継紙
264		(書状)	「私宅」へ御出を願う旨。端に「中里村龍沢寺二而」とあり	平田勇(欠)・同孫十郎	芦東民様 急内用	5月23日	1	横切 継紙
265		(書状)	病気仕り兄弟二人ニ罷成跡式の事など、前欠	升浦白玄	東山大老先生座下	6月25日	1	横切 継紙
266		(書状)	書状のやりとりについて	遊佐次郎左衛門	岩淵孝七郎様		1	横切 紙
267		(書状)	看病願いのことにつき。後欠	児玉孫次(欠)	岩淵幸七郎様		1	横切 紙
268		(書状)	病気につき面会延期のこと	松采女 自分	芦幸七郎様	4月17日	1	横切 紙
269		(書状)	御同道の願い	小松寿安	芦孝七郎様	5月21日	1	横切 紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
270		写(岩淵善之助額髪取并幸七郎改名に達書写)	岩淵善之助義幸七郎と名改め度願。裏打ちあり	芦名刑部	田辺喜右衛門殿	(正徳4年〔1714〕)3月15日	1	横切紙
271		(書状)	仙府よりの路費少々借用のこと。裏面に田代畑代の書付があるが裏付されているため詳細不明、旧整理封筒内に付箋が同封されている。	菅原新内	(東)民様 案下	季秋(9月)28日	1	横切紙
272		写(岩淵幸七郎京都遊学達書写)	手前組岩淵幸七学問精出しに付、当春京都へ登り桑名松雲父子諸事世話いたし学問すべきこと幸七へ明九日申渡すべきこと。後欠	葦名刑部・大町将監	瀬上淡路殿	(8日)	1	横切継紙
273		(書状)	学問所空き地へ自分にて小屋構えたき願相談致しかねるにつき	高橋与右衛門・遊佐運蔵・金成六平・半沢太兵衛	蘆幸七郎様	12月20日	1	横切紙
274		(書状)	御返事承りたく願書ご持参くださるべきこと	閑齋	蘆先生	5月3日	1	横切継紙
275		(書状)	仙台へ序文の儀願遣わすの儀、今日と風俗頹敗につき自修堅固になしがたき旨等報知	多田儀八郎 維(花押)	孝七郎様	6月24日	1	横切継紙
276		(書状)	田中久太夫様知行所田損願御指引方助之進様へ願指上のこと、大肝入役料米の件先頃御相談の通にて然るべきや等報知	作右衛門	仮肝入 長左衛門様	閏2月18日	1	横切継紙
277		(書状二通貼り継ぎ)	①東西より書信さへ滞り床しく病氣本快いたし東行仕りたく。前欠。②先生御文集拝借し写取り誤字・落所など改めることなど。前後欠、虫損あり	①多田儀八郎 維(花押)	①孝七郎様	①8月12日	1	横切継紙
278		(書状)	寒中見舞など	多田儀八郎 宗魚(花押)	(欠)七郎様 小近侍	11月28日	1	横切継紙
279		(書状)	「此一封」を蘆幸七郎へ届けられたき旨	多田義八郎 維則(花押)	畑中多仲様	5月14日	1	横切紙
280		(書状)	病氣の様子、三宅先生行実注の件等につき	多田庄蔵 維孝(花押)	蘆孝七郎様 参人々御中	5月14日	1	横切継紙
281		(書状)	本月初御出府につき文蔵紹介状	茂(花押)	東山先生 梧右	3月13日	1	横切継紙
282		(書状断簡)	①芦作左衛門妻再嫁の件等につき。2葉が裏打ちされているが両葉の天地が相互に逆にされている。②裏面の書状。前欠か	①②(芦東山)		①10月5日 ②戊ノ4月21日	1	横切継紙
283		(書状断簡)	学問の状況についてなど	(田辺希元)	(芦東山)		1	横切継紙
284		(薬用書)	「昨日御約束いたし候目薬」云々	尾齋 春山	お娯様		1	横切継紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求 番号	枝 番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
285		(書状下書)	お祝いの進物につき。2通裏打	①-1、①-2、②東山洪民村 卯左衛門	①-1淡也様 御家来様・ 太忠様 御家来様中 ① -2淡也様 御家来様 ② 太忠様 御家来様中	①-2、②何月幾日	1	横切 紙
286		(書状)	四月頃上京のことなど。講堂も規矩も不正 候、鳩巢先生高倉屋敷へ御出講云々。2 枚、前後欠、裏打ち。				1	横切 紙
287		(書状・書上二通貼継)	①この心底同意ならざる者には徳林流の 学術吟味はなりがたき品あり。前欠、破損 あり ②皇学・漢学とも文字言語通じて法あ ること疑いなし、況や国家の治の法におい てをや。前後欠カ				1	横切 紙
288		(漢詩)	「武陵三月愛花朝(略)」、七言絶句。朱書 きによる修正あり	岩三省拝			1	横切 紙
289		覚	龍宝寺蔵本此度借出分リストなど	畑中太忠	(東)嶠先生 几下	(欠)月24日	1	横切 継紙
290		(書状、百七拾八番 辛 巳 八番)	無刑録事調べ等につき。	畑中太忠	東嶠先生 几下	(辛巳(宝暦11年 [1761]))2月21日	1	横切 継紙
291		(書状)	当年の万作や久米先生の病死など報告。 前欠	畑中太忠 盛(花押)	岳君 机下	11月20日	1	横切 継紙
292		(書状)	近況報告、去月末田辺久四郎が御前で孝 経を講じたことなど。前欠	畑中太忠	岳君 机下	12月2日	1	横切 継紙
293		(書状)	小女を遠藤正蔵へ嫁がせる件について。後 欠	(畑中多忠)			1	横切 紙
294		(申渡書)	御預け御免となった芦幸七郎を親類洪民 村肝入卯左衛門が請取る件につき首尾を 求める	畑中多忠	東山大原村仮大肝入 新太夫殿	(宝暦11年[1761])4 月21日	1	横切 継紙
295		(書跡)	「作徳不休(略)」(原文篆書)。復翁は、幽 閉後洪民に帰って間もない頃の芦東山の 号	復翁書(印)(印)			1	掛軸
296		(書跡写)	「百壽之図」複製	(原文:芦東山)		(原文:宝暦甲戌(宝 暦4年[1754]吉)	1	掛軸
297		(書跡)	「遠鷗浮水静(略)」。新井滄州は仙台藩儒 佐久間洞巖の息子	青葉山 七十九翁滄洲源 義質(印)		(寛政4年[1792])	1	掛軸
299	1	無刑録訳注 第十七巻		原著芦徳林、訳註小野寺 東一郎、発行大東町教育 委員会		平成17年[2005]7月 31日	1	豎本
299	2	無刑録訳注 第十八巻		原著芦徳林、訳註小野寺 東一郎、発行大東町教育 委員会		平成17年[2005]7月 31日	1	豎本

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
300		天狗田祠碑(書跡)	芦東山による天狗田祠碑の碑文	(司祀天狗田邑民伊平次立)		(安永7年〔1778〕9月朔日)	1	掛軸
301		(書跡)	天狗田由来、芦東山解説文	金写之		(原文:安永4年〔1775〕乙未7月12日丁巳)	1	掛軸
302		(書跡)	「貴徳者昌恃力者亡」。横田秀雄(1862~1938)は元大審院長	秀雄(印)(印)		甲戌夏	1	掛軸
303		(書跡)	「陶不求甚翁(略)」	磐溪(印)(印)			1	掛軸
304		(書跡)	「摩利支天」。林友直は林子平	林友直書(花押)			1	掛軸
309		(屏風)	「保合太和」「居易俟命」、2曲1隻。	(印)(印)(南山古梁)			1	屏風
311		(詠歌)	芦東山の三十三回忌に寄せた歌。昌信は遠藤勘解由か	昌信			1	短冊色紙
319		(宮崎中学校寄宿舎東山寮表札)	東山寮の命名者は土田徹三	(古川北中学校 門脇義昭書、宮崎中学校 菊地則子刻)		昭和45年〔1970〕3月	1	木板
323		(書状)	①二百九十七番 己卯五番。近況及び病氣関連など ②無刑録の紹介など。書状2点の貼り合わせ。佐竹九吉(義根)は仙台藩の天文学者、神道家	①(芦東山) ②蘆孝七郎	②佐竹仁兄梧右	①(己卯(宝暦9年〔1759])) ②(宝暦3年〔1753])3月17日	1	横切継紙
324		芦東山先生略伝	芦育平が口述したのを文章化したもの。後、『芦東山先生伝』(芦育平、1965年)として刊行。浜民小学校教員佐藤正治の「あとがき」あり。	芦育平先生口述、(佐藤正治文章化)		昭和38年11月(口述)、昭和39年〔1964〕2月10日(文章化)	1	原稿用紙
329	1~4	先哲叢談	8巻72人。	念齋原先生著、江戸書林慶元堂 玉巖堂 梓行		文化13年〔1816〕丙子9月新(見返し)	4	豎本
329	5~8	先哲叢談後編	8巻72人。芦東山の記事あり	琴臺東條先生著、大阪書林・群玉堂梓行		文政13年〔1830〕庚寅6月新鑄(見返し)	4	豎本
329	9	先哲叢談年表	山崎美成序	東條耕(撰)		文政10〔1827〕(序)	1	豎本
344		(書状)	「六月十六夜之貴札、同十九日宮崎御屋敷より相達」云々	佐竹奎之介	芦幸七郎様	(宝暦2年〔1752〕)7月9日	1	横切継紙
345		(書状)	書道、病婦のこと等。欠損、前欠。	佐竹九吉	蘆孝七郎様	2月21日	1	横切継紙
346		(和歌)	藤原盛雄は畑中太忠	藤原盛雄			1	横切継紙
347	1	芦東山先生略伝	①(東山新報スクラップ)。「東山新報」連載記事のスクラップ。佐藤正治による「序」あり ②芦東山先生略伝。「芦育平先生著より」のガリ版1枚のスクラップ	佐藤正治(序、スクラップ)		①Mar 1964(序)、昭和39年2月28日(金)~昭和40年1月18日(月)(スクラップ記事) ②(昭和43年〔1968〕2月)	1	スクラップブック

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
347	2	芦東山先生略伝	No374-1の②のガリ版、挟まれていたもの。書き込みあるもの1枚			昭和43年〔1968〕2月	7	ガリ版
505		(書付)	医学関連か。欠損あり。右上に番号あり(No4、5、9、12、26、27、29、31、33、34(?))、36、不詳2点)。13枚				1	縦紙
506	1	(書状断簡)	「(前略)長安江の書面貴様二而もご一覽被下度」云々。裏に書付あり(医学関連か)。前後欠。No507-2と関連ありか。No506は、元書込みがある封筒入り	貴明山人	三益様	7月12日	1	横切紙
506	2	(書状断簡)	「御床敷奉存候、世途ハ万端多用難儀」云々。前後欠				1	横切紙
506	3	(書状断簡)	「(前略)当月四日の御ふミ、過ル六日二相とゞき拝見致し」云々。後欠				1	横切紙
506	4	(書状断簡)	「九月御登仙之節御年齢願二被成候へハ御誓詞計二而血判二為不申」云々。前欠			3月28日	1	横切紙
506	5	(達書下書)	「御過去牒に相済申候御用之物」、「芦幸七郎口上申聞候趣」云々。前欠	石母田		月日	1	横切紙
506	6	(書状)	「其方出府以後早速書状遣候様二申下候処いまだ書状川鯁共二不参候故」云々。書状遣わしのこと忠卒に任ず事など。後欠か。	良齋(芦東山)	作之進殿	2月24日	1	折紙
507	1	(願書下書)	芦東山赦免の願いにつき、神文、血判、誓詞のこと。	畠中多仲	御用前御目付 宛名	宝暦13年〔1763〕3月	1	横切紙
507	2	(書状断簡)	①「(略)此度之御紙面は別而御深切之御料簡」云々。②「も不吉事二御座候」(略)。③「教戒を以、氣質大ニ変化いたし(欠)」。裏に四字成句の書付あり。書状下書きか。3枚とも欠損あり、前後欠か。No506-1と関連ありか	(芦東山)			3	横切紙
507	3	(書状断簡、二十五番)	「当年之書状これきり」。欠損あり	芦幸七郎	仙台北寺小路岡部十左衛門所二而 芦一桂様	11月21日	1	横切紙
507	4	(書状断簡)	「拙者妾儀御暇被下置」、「娘縁附」。2枚	(芦東山)			2	横切紙
507	5	(書状断簡)	「フクサ吉枚」、「一、御代々考二相入申候打紙」。前後欠か				1	横切紙
507	6	(諸製造法書)	摘灰造方など				1	綴(折紙)
507	7	(書状)	「父ノ家督トナル養子ハ其品をことハリ申候所」			10月	1	横切紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
507	8	(書状)	知人の近況報告。前欠、欠損。	多田儀八郎 維則(花押)	東山先生	8月17日	1	折紙
517		(御手本)	表紙に「洪民」とあり。1丁目に「日本後學蘆徳林十九代後胤」、「蘆徳林(花押)」、末尾に「蘆(示羔)聘 徳胤(花押)」とあり。他にも奥付あり				1	豎帳
518		東北風談〔写〕	末尾に良弼による兵学関連記事あり。新しい題箋あり。	仙台之講学生尚古堂谷良弼写(原文:薩藩桜島陳人肝付急武述 俗称七之進)		嘉永7年〔1854〕歳在涪灘撰提格冬10月庚申	1	豎帳
519		大学三綱領口義	内題「黙齋先生大学三綱領口義」。題箋には「宇井先生」とあり。本文末尾に「志篤丁未艸」、末尾に志村弘強による識語(癸丑冬十二月)あり。写しか。表紙、見返しに蔵書印	(宇井黙齋)		(癸丑(寛政5年〔1793〕)冬12月)	1	豎本
520		改正音訓古文孝経	裏見返しに朱書き「洪民生 葦襄助」	緯堂先生校本、東京書林川原氏発行		明治13年〔1880〕4月10日翻刻御	1	豎本
521		古今茶道全書巻〔写〕	見返しに「龍賢堂印」	(原文:四條坊門通東洞院東入町 水田甚左衛門・吉岡伊兵衛 版行)		(原文:元禄7〔1694〕甲戌年正月吉辰)	1	豎帳
522		(囲碁関係資料)	末尾、裏表紙に書き込みなど。裏見返しに「寺沢又八郎」とあり。				1	豎帳
523	1~2	三珠樹集	乾・坤の2冊。志村五城・志村東嶼・志村菊隠の詩集。乾巻の見返しに「進呈 志村健雄 仙台市通町二六七」とある書付。末尾に「後學今泉彪謹校」とあり	編輯兼発行者 志村健雄		明治44年〔1911〕10月5日発行	2	豎本
524		本因坊道知棋経大全	見返しに「寺沢屋 平壽胤」とあり。碁盤の図、寸法など				1	豎帳
525	1~3	偶評続今体名家文抄	題簽剥がれあり。「十賢堂図書印」の蔵書印	土居光華編輯、実文閣発行		同(明治10年〔1877〕)9月20日出版	3	豎本
527	1~2	鈴林必携	見返しに書き込みなど	桂園下曾根先生閱、下曾根氏蔵梓		嘉永5年〔1852〕壬子秋8月	2	豎本
528		赤壁賦	拓本のコピーか。見返しに「蘆」の蔵書印。末尾に印2つ。題箋一部欠損				1	折本
529		白雲館詩鈔	昭和2年秋日、岡濯の自序あり	仙台 甕泉 岡濯著		昭和16年〔1941〕11月15日発行	1	書籍
531	1~2	白雲館文録	乾・坤の2冊	仙台 岡濯著		大正13年〔1924〕3月30日発行	2	書籍
532	1~16	日本政記	頼氏蔵版。「十賢堂図書印」の蔵書印。題簽欠などあり。巻之十六の裏見返しに書き込み	頼襄子成 著、発行書房江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛など			16	豎本

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
540		東山先生之墓〔拓本〕	芦東山の墓石4面の拓本4枚。簡易軸物仕立て。	(乃村工藝社)			4	拓本
545	1	(願書)	断簡3枚。①「一、拙者事取早十六ヶ年当所江被相預五十八歳二罷成」②「(廢)り候者共多く被相預候所」③「生涯御仕置は」。欠損あり。No545は「130」など書き込みある封筒入り			(宝暦3年〔1753〕)	3	横切紙
545	2	(願書案文)	「刑書十四篇」云々。欠損あり。付箋付き				1	折紙
546		集義和書卷 第八九十 義論一三三 三	表紙に書名。見返しに「恒貞」か、また蔵書印「蘆徳林印」。末尾に「小野寺氏」の消し跡、「小山氏」とあり。題箋一部欠損、剥がれ。				1	豎本
548		無刑録卷一〔写〕	末尾に「芦宇一郎殿」とあり。3～4丁に、いろはの書き込み、5丁より書き込みあり。巻一の途中までか。末尾は「徳林按程傳持明用(略)故獄徳眞」。旧整理封筒あり。				1	豎帳
549		蘆東山先生雑集	謄写版。「龍寶寺より書籍を借る手束」など。表紙に「呈蘆習一君 畠山芳蔵」とあり。ボールペン朱書き「芦祥平宛ノモノト同一ナリ」とあり。欠損あり。旧整理封筒に「芦祥平先生纂輯 東山油印資料」とあり。				1	謄写版
550		東山先生遺稿序	芦東山の紹介。旧整理封筒に「仙台後学館森鴻序」など書き込み	仙台後学館森鴻序		昭和9年〔1934〕冬10月	1	綴 (原稿用紙)
551		(東山書簡写)	太忠宛、長安宛など。表紙は古文書による裏打ち。4丁に「斑目信介東雄原本安政二年二月写」とあり。			安政2年〔1855〕2月写	1	豎帳
552		草書応制詩	本文標題は「歴朝応制詩」、見返しに「徳林茂仲」とあり。				1	豎帳
553	1	(書状)	学問関連か、「刑政」云々。断簡。	(芦東山)		(宝暦3年〔1753〕)	4	横切紙
553	2	(書状)	「人倫ノ大義之」。付箋付き				1	横切紙
553	3	(書状)	「去月八日之御翰札」、「観音寺住僧」、「中奥玉村之者二」。見出紙つき	蘆幸七郎拜 宮崎御預所より	松隠様	12月10日昼7時過	1	横切 継紙
554	1	(達書)	芦東山一家の親類預け関連。「故幸七郎妾并下女合三人」。前欠か	畑中多忠		(宝暦11年〔1761〕)4月	1	横切 継紙
554	2	(書状)	「一昨日は御来過」。駕籠乗り願い関連。後欠				1	横切紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
554	3	(書状)	断簡3枚。末尾に姫の消息あり(後欠)	畑中太忠	東嶠先生	2月朔日	3	横切紙
556	1~5	聯珠詩格	仁・義・禮・智・信の5冊。新表紙に「十賢堂芦氏 蔵書」などあり。新表紙は古文書による裏打ち。総目及び内題に「精刊唐宋千家聯珠詩格」とあり。	番易黙齋于 濟徳夫・建安蒙齋蔡正孫粹然 編集、江戸大窪行天民校訂、東都書肆 若林清兵衛など		文化改元〔1804〕甲子夏6月	1	豎本
557	1~5	千字文	仁・義・禮・智・信の5冊。仁巻の見返しに、持僚(章右衛門)による書き込み、表紙に資料説明文のセロハンテープ貼り、裏見返しに書き込みあり。蔵書印あり	京師柳馬場通三條上ル町白松堂 万屋七郎并衛版行		享保11年〔1726〕6月之吉	5	豎本
558		六諭衍義大意	表紙に資料説明文のセロハンテープ貼り。見返しに目次と、「十賢堂」の書き込み	室直清、武江 書林 出雲寺和泉椽など		享保7〔1722〕壬寅歳4月吉日	1	豎本
559		大岡政要録〔写〕	表紙に「洪民ノ邑縣 岩淵新七良 求之」のセロハンテープ貼り。見返しに同文の書き込み、「奥東山洪民村細桑章右衛門」など蔵書印2つ。末尾に写し関連の記事あり	東山大原金烏社中歡晃書(印)(印)(写)		文化3年〔1806〕寅8月(写)	1	豎帳
561		(書状)	「御細書被成下、御母子様御様子(略)」。	深芦 卯左衛門	孝七郎様	6月22日夜ル	1	横折継紙
563		風土記御用書出	表紙に「但先書上ハ余りに田邊良輔様御直二付」、右上に「岩井郡東山北方第十洪民村一」とあり。	磐井郡東山北方洪民村肝入 卯左衛門		安永4年〔1775〕7月	1	豎帳
566		述懐(和歌)	気仙郡吉田家文書。No566~574は、元紙箱入り。	卍何			1	横切紙
569		(書跡拓本)	気仙郡吉田家文書。①(書跡)、「大孝以忠(略)」②(跋文)、岡珏は岡蔵治 ③(跋文)、勝村師軻は勝村蟻齋	①(東山洪民(印)(印)) ②(仙臺岡珏謹題(印)) ③(勝村師軻拝題(印)(印))		①(宝暦壬午(宝暦12年〔1762〕重陽戊辰) ③(文政己丑(文政12年〔1829〕冬至夜)	1	拓本
570		(漢詩)	気仙郡吉田家文書。「余十八年前欲探化仙(略)観齋藤竹堂翁有謝主人詩次其韻」	(畊畑山内健)		(明治16年〔1883〕4月10日)	1	横切紙
571		(漢詩)	気仙郡吉田家文書。「癸未晩春化仙再(略)」。右上にも印	三■省(印)		(癸未(明治16年〔1883〕晩春)	1	横切紙
572		(漢詩)	気仙郡吉田家文書。「癸未四月探気仙諸勝(略)」	大槻修拝草(印)(印)		(癸未(明治16年〔1883〕4月)	1	横切紙
573		(漢詩)	気仙郡吉田家文書。「余十八年前欲探化仙(略)」	畊畑山内健(印)(印)		(明治16年〔1883〕4月10日)	1	横切紙
575		(書状断簡)	騒動の件。前後欠。No575~585は、元「原深芦資料 書簡・書付類」とある木箱入り。				1	横切紙
576		(戒名書付等)	原深芦資料。裏に書き込みあり				1	折紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
577		(法名書付)	原深芦資料。岩淵作左衛門、白栄卯左衛門、僊翁友慶居士3人関連。朱書き				1	豎切紙
578		覚	原深芦資料。「一金拾七両二歩也(略)」。商号印3つ。	(針生与之介)(印)	芦文十郎様	巳 11月24日	1	横切紙
579		(名・字・号書付)	原深芦資料。「名惇徳 字子敬 号東溪(略)」	耕雲山人攷	蘆宇一郎		1	折紙
580		(達書)	原深芦資料。「御軍用方御用被相入候間」云々。後欠、欠損あり	中村宗三郎	武田奎介様 御諸人取扱中		1	横切紙
581		(書状か)	原深芦資料。「(前欠)早速為御登候様致度候(略)」。昌安相続の件など。前後欠				1	横切紙
582		(書状)	原深芦資料。「(略)心当無之候而ハ(欠)之雑費不足ニ(略)三月ニは其御地大火之義(略)」。前後欠、欠損				1	横切紙
583		(書籍書付)	原深芦資料。「(略)右之通ニ御座候、一品御恵沢仕度奉存候(略)」			清水18日	1	横切紙
584		(書状)	原深芦資料。「相届拝誦先以(略)」。後生論云々。前欠				1	横切紙
585		(書付)	原深芦資料。「依仁齋銘(略)」、明倫堂および四齋銘の件。前後欠、糊剥がれ、欠損				1	横切紙
586		月(短冊)	「遠近の山路の(略)」。No586~588は、元木箱入り。	八十一翁 定雄			1	短冊色紙
587		(金子借用証文)	「(略)畑中太忠様より(略)御小遣金」。旧整理封筒あり	ねきやしき借主 久之丞(印)・根岸屋しき高主口入太惣治(印)	深芦 岩淵卯左衛門殿	天明7年〔1787〕4月8日	1	豎紙
588		岩淵持僚乎婦難之利本岩儀ル訓	禁忌および訓戒書き。持僚は章右衛門	①岩淵持僚(重判) ②有隣(印)(印)		①壬申(明治4年〔1872〕) 陽復上旬	1	横切継紙
590	1~12	増續大廣益會玉篇大全	表紙一部欠損など。首巻の見返しに「會玉篇大全」とあり。「十賢堂図書印」の蔵書印。巻九欠。	毛利貞齋先生著		安永9年〔1780〕庚子	12	豎本
611		蘆東山先生遺徳碑(拓本)	一関市大東町洪民にある八幡神社前の石碑拓本	(原資料:正二位伯爵勲一等東久世通禧題額、東京依田百川撰)		(原資料:明治32年〔1899〕3月)	1	拓本
613		(友慶芦正太郎略歴)	「深芦文書(原資料)」。「姓者藤原氏者岩淵諱胤恭字友慶(略)」。欠損あり。				1	豎紙
618		(書状)	「(前欠)(略)連名申渡候(略)」。前後欠。No618~621は、元赤紙箱入り			12月13日	1	横切継紙

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
619		(口演他書状)	書状4点。①「口演」、「(略)同性道益親類御預々御免」②(前欠)「乍憚路中御大切二被遊」③「尚以家内も(略)」④「右ハ出処相達申候様申もの」。前後欠。No619は、「斎藤道益」と付箋ある紙軸に巻かれているもの。	①斎藤(孝)治 ②斎藤亮 頓首拜 ③斎藤道意 可也 (花押)	①畑中太仲様 ②東山老大先生 ③肝入 作左衛門殿・卯左衛門殿	①(明和3年〔1766〕)9月18日 ②正月22日 ③(寛延元年〔1748〕)12月5日	4	横切紙
620		(書状)	「逸平方よりの手帑致披見候、先以(略)」。「柴桑 印影 文書外」とラベルある封筒入り	蘆昌安	作左衛門様・弥左衛門様・卯左衛門様	11月晦日	1	横切紙
621	1	(印形押印)	「十賢堂図書印」など押印紙4枚				4	縦紙
621	2	(和歌謄写版)	「青柳をくゝる」など8首				1	謄写版
621	3	口上(謄写版)	「(略)不相御鼻頂被成下何卒御用向澤山被仰付候様」云々	御詔無類飛切萬染物仕出所 東山洪民村 齊桑章右衛門			1	謄写版
621	4	(拓本)	文久貨泉、鐸の拓本6つ。謄写版か				1	拓本
623		論語卷之三	深芦文書。見返しに「蘆巳之七郎」など書き込み。内題右丁に「蘆東山書」とあり。裏見返しに「鳥居智臈」など書き込み。欠損。No623～629は、元紙封筒入り	朱熹集註			1	縦本
625		(仙台藩家臣覚)	深芦文書。2丁裏に和歌。前欠				1	縦帳
626		(和歌書付)	深芦文書。前後欠か、欠損あり				1	縦帳
627		(御分領中一村切高付之覚)	深芦文書。末尾に「二十九 御目付衆」など書付。欠損あり				1	縦帳
628		(訓戒書)	深芦文書。「忠孝をわすれたるもの(略)」。欠損若干。印刷物	(印)(印)			1	印刷物
629		(書付)	深芦文書。「(欠)而下ルトイヘルモ皆聖代ノ」云々。欠損。				1	縦紙
634		(書跡)	「誠之為貴」。前欠か。官房印あり	竹齋(印)(印)			1	縦長和紙
635	1	(庚申碑拓本)	宮城県栗原市高清水の牟良佐喜神社にある石碑。簡易軸物仕立て	(芦東山記念館)		(平成24年〔2012〕)8月9日	1	拓本
635	2	(節用敬親之碑拓本)	一関市大東町渋民にある石碑。簡易軸物仕立て	(芦東山記念館)		(平成24年〔2012〕)7月26日	1	拓本
635	3	(貽謀碑拓本)	一関市大東町渋民にある石碑。簡易軸物仕立て	(芦東山記念館)		(平成24年〔2012〕)7月21日	1	拓本
635	4	(天狗田祠碑拓本)	一関市大東町沖田の天狗田神社にある石碑。簡易軸物仕立て	(芦東山記念館)		(平成24年〔2012〕)8月9日	1	拓本
643		渋民八景	書額。欠損あり	道遊山人		戊戌 極寒日	1	額入

芦東山記念館収蔵資料目録

請求番号	枝番	表題	備考	作成者	宛名	作成年月日〔西暦〕	数量	形態
644		(書跡)	「千慮無惑」。書額。裏に「由来」の書付(昭和三十四年十一月吉日秘書小山敬吾の書)、欠損あり。	新平(印)(印)			1	額入
646	1~60	大明一統志	目録巻の表紙に「共六拾本」、「二十五函」とあり、1丁目に「市井臣文蔵獻仙臺府書」など印5つ。「刻大明一統志序」は、元禄12年〔1699〕春正月之吉。	(明 李賢 等奉敕撰)、紀州學生陰山元質淳夫(序)、京師二條通書林弘章堂山本長兵衛		正徳3〔1713〕癸巳仲春版梓	60	豎本
2001		(書跡)	「君子防未然(略)」。5言6句、「古楽府・君子行」の一部。	(印)			1	掛軸
2002		(書跡)	「勞謙得其柄(略)」、5言6句、「古楽府・君子行」の一部。No2001と対の資料				1	掛軸
2003		(書状)	「いつそや申候能登之國(略)」	為村	真徳御房	6月7日	1	掛軸
2007		(書跡)	「静好室」	八十翁齋坦(印)(印)			1	掛軸
2008		(書跡)	「福莫大於無禍」	一齋藤坦(印)(印)			1	掛軸
2009		(書跡)	「為善最楽」	牧山書(印)(印)			1	掛軸
2010		(書跡)	「農源夕浄緑陰風(略)」。七言絶句。蕙塢潔は菅野白華。	蕙塢潔(印)(印)			1	掛軸
2011		(書跡)	「■■恒久(略)」				1	掛軸
2012		(書跡)	「白骨乾沙荒海濱(略)」。七言絶句	千仞生(印)(印)			1	掛軸
2015		(書跡)	「威壓四方屬太平(略)」。七言律詩。	東山逸民直書(印)(印)			1	掛軸
2016		(書跡)	「嬌柳尋風力(略)」。五言律詩。	東山逸民書			1	掛軸
2017		(書跡)	「神魂夜ノ故丘邊(略)」。	東山逸民			1	掛軸
2019		(願書)	①芦東山の赦免願い ②磐井郡東山洪民村御百姓共乍恐奉願候事。藩主伊達重村の休息した助之丞宅に裏板張御免云々。案文、後欠	①蘆幸七郎妾 飯塚紹(印)	①大年寺金狛座下役者衆中	①宝暦8年〔1758〕5月22日 ②(明和元年〔1764〕)	1	掛軸
2023		刑本下 無刑録 巻二	表紙に書き込み。見返しに無刑録関連の参考メモか。頭註、朱書きによる修正など。	(芦東山)		(裏表紙)辛巳(宝暦11年〔1761〕)2月朔日	1	豎帳
2024	1~15	(原本 無刑録 複製本)	マイクロフィルムの印刷本。木箱入り	高橋写真マイクロ写真部			15	複製
2025	1~18	元老院蔵版 無刑録	「大東町立中央公民館蔵書印」、「大東町中央公民館印」の印。	蘆野徳林		明治10年〔1877〕4月	18	豎本
2026		(書付等貼り交ぜ)	①(起請文前書) ②(兵法書付) ③仕寄之事 ④小學敬身 ⑤(兵法書付) ⑥(書付断簡) ⑦(兵法書付) ⑧朱印住紋 ⑨朱印住紋 ⑩日参禅別無秘決只思生死切 ⑪長良矢防之大吏 ⑫■考韻鏡歸字例 ⑬改永充	①佐々木四郎三郎 盛久(花押) ⑤朽瓢子 ⑬三省子 自考 従詮(花押)	①觀義様 ⑤三省子	①正徳元年〔1711〕7月 ⑤享保5〔1720〕庚子年 5月21日 ⑬元文3〔1738〕戊午如月吉日	1	卷子